

# 医療安全・被ばく線量管理において 取り組むべきこと

医療安全の機運が更に高まる中、どのように対応すればよいのか？  
また被ばく線量管理義務化の中で、放射線部門としてどのように取り組んでいけばよいのか？

本ウェビナーでは、このようなお悩みを抱えておられるお客様向けに医療機関より講師をお招きし、診療用放射線に係る安全管理において取り組むべき内容についてご講演頂きます。

被ばく線量の最適化に向けた取り組みとして、再撮影データを用いた管理・教育の有用性や、低線量かつ高精細撮影が可能な装置の導入事例をご紹介頂き、皆様の運用検討にもご活用頂ける内容となっております。

**日時：2022年7月26日（火）19:00～21:00**

**視聴形式：ウェビナー（オンラインセミナー）**

※インターネットが使用できるPCまたはタブレット、スマートフォンをご用意ください。

## プログラム

開始時刻	内容
19:00	<b>製品紹介</b> コニカミノルタジャパン株式会社 製品担当
19:25	<b>演題① 一般撮影部門での拡大撮影について ～AeroDR fineの高精細モードの検討～</b> 講師：岸本 健治 先生 大阪公立大学医学部附属病院 中央放射線部 主査
19:45	<b>演題② 一般撮影マネージメントシステム『RADInsight』を使用した一般撮影部門の管理 ～ポジショニング判定支援機能を用いた再撮基準の明確化～</b> 講師：奈良澤 昌伸 先生 大阪公立大学医学部附属病院 中央放射線部
20:05	<b>演題③ 放射線管理の業界動向</b> 講師：市田 隆雄 先生 大阪公立大学医学部附属病院 中央放射線部 保健主幹兼技師長
21:00	終了予定

**定員：300名** ※人数に達した場合、受付を締め切らせて頂きます。

## 【お申し込みについて】

下記URL（QRコード）よりアクセスをお願いいたします。

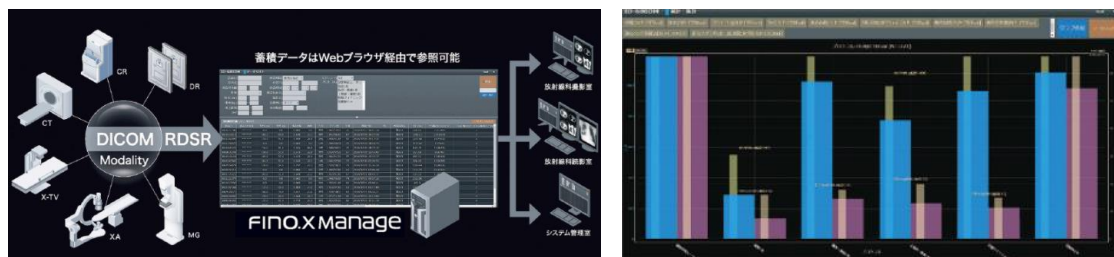
<https://www.konicaminolta.jp/healthcare/seminar/20220726.html>



## 関連製品のご紹介

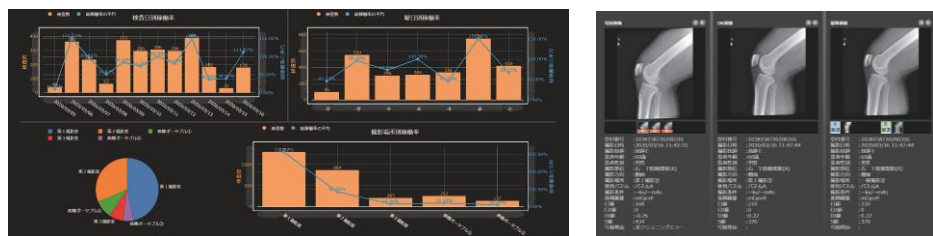
### ○被ばく線量管理システム「FINO.XManage」

DICOM RDSR対応。検査装置、PACSよりX線照射情報を取得し被ばく線量情報を効率的に管理します。



### ○一般撮影マネジメント機能「RADInsight」

一般撮影の多様なデータを見える化。再撮影を削減、検査体制を最適化し、一般撮影業務の効率化を実現します。



### ○ワイヤレスデジタルラジオグラフィシステム「AeroDR」

高解像、高感度、高画質。

ワイヤスタイプの可搬型DR “AeroDR” は、その多彩な特徴で快適な操作性とソリューションを提供します。

#### ご注意事項

- ・プログラムの内容や配信時間は変更になる場合がございます。
- ・本ウェビナーへの参加にはお申し込みが必要です。
- ・ウェビナーは、インターネットを使ってご覧いただくオンライン配信です。ご利用の際はWi-Fi環境の整った所での視聴を推奨いたします。
- ・携帯端末の場合、音声小さく聞こえる場合がございます。携帯端末から視聴される際は、イヤホンのご使用をお勧めいたします。
- ・LIVE中にチャット形式で質問が可能な、視聴者参加型のウェビナーとなっています。
- ・インターネット回線をご利用の際に、お客様の契約形態によっては通信料金が別途発生する場合がございます。
- ・本ウェビナーの撮影・録音・録画行為につきましては一切禁止とさせていただきます。

#### ご視聴までの流れ

- ①申し込みフォームからお申し込みください。  
※連絡用のメールアドレスをご用意ください。また、ご本人様のメールアドレスでお申し込みください。
- ②開催日が近づきましたら、ご登録いただいたメールアドレス宛に視聴方法をご案内します。
- ③開催当日、配信時間になりましたら視聴用URLにアクセスし、セミナーをご視聴ください。